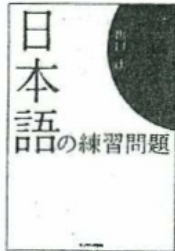


# 産経新聞 12/1 朝刊書評欄



## 日本語の練習問題

出口<sup>ひろし</sup>汪著

参考書を700万部売り上げた大学受験界のカリスマが、一般向けに「日本語」の使い方をテーマに据えた力作。よくある、作家や言語学者らが日本語の特質や構造について解説を試みた「日本語本」

とは異なり、文学作品を題材に、空欄補充問題などを実際に解かせていく。論理的思考能力の養成に主眼を置いたテキストを中学・高校にも普及させた「指導力」は圧巻で、解答に至るプロセスを丁寧

に説明。敬語や俳句に焦点を当てた点も興味深く、「日本語が乱れると日本が乱れる」と主張。日本人の繊細な言葉の使い方を再評価し、日本語の美しさにこだわっている。(サンマーク出版・1575円)